

「農商工連携ベストプラクティス 25」 応募調査票

①農商工連携の取り組みの名称(テーマ)

農商工連携の取組内容を一言で表現する事業名(テーマ)をご記入ください。

例)「鮮度保持技術開発により海外市場開拓に成功！」

②農商工連携の取り組みのポイント

農商工連携の取り組みにおいて、PRしたい点、伝えたい点を簡単にご記入ください。
(、 、 で具体的内容をご記入いただきます。) PRしたい事項が複数ある場合、PRしたい順にご記入ください。

- 「連携体制の構築」(連携主体の多様性、域外主体との連携、連携規模の拡大・面的展開等)について、特筆すべき点、PRしたい点
- 「商品・サービスの開発」、「販路開拓」、「プロモーション(広告、販売促進、情報発信)」について、特筆すべき点、PRしたい点
- 地域活性化(地域貢献)について、特筆すべき点、PRしたい点 等

③貴社・貴団体の概要

連携の中核となっている企業・団体についてご記入ください。

団体名：

住所：(〒 -)

代表者名：

連絡先 電話番号：

F A X 番号：

E_mail：

ホームページ：

資本金：

事業分類（該当する番号に ）： 1．農林漁業者 2．商工業者 3．その他

事業の概要（該当企業・団体単独の通常の事業）：

創業当時（設立年）・連携当初（年）・直近（2008年度）の売上高、従業員数：

農商工連携によって、新たに商品・サービスを開発したり、販路を確保したり、プロモーションを行うなどにより、売上高や人員等に変化がみられたかどうか把握するものです。

可能な範囲でご記入ください。

	創業当時 （設立年）	連携当初 （年）	直近 （2008年度）
売上高（千円）			
従業員数（人） うち正社員数（人）			

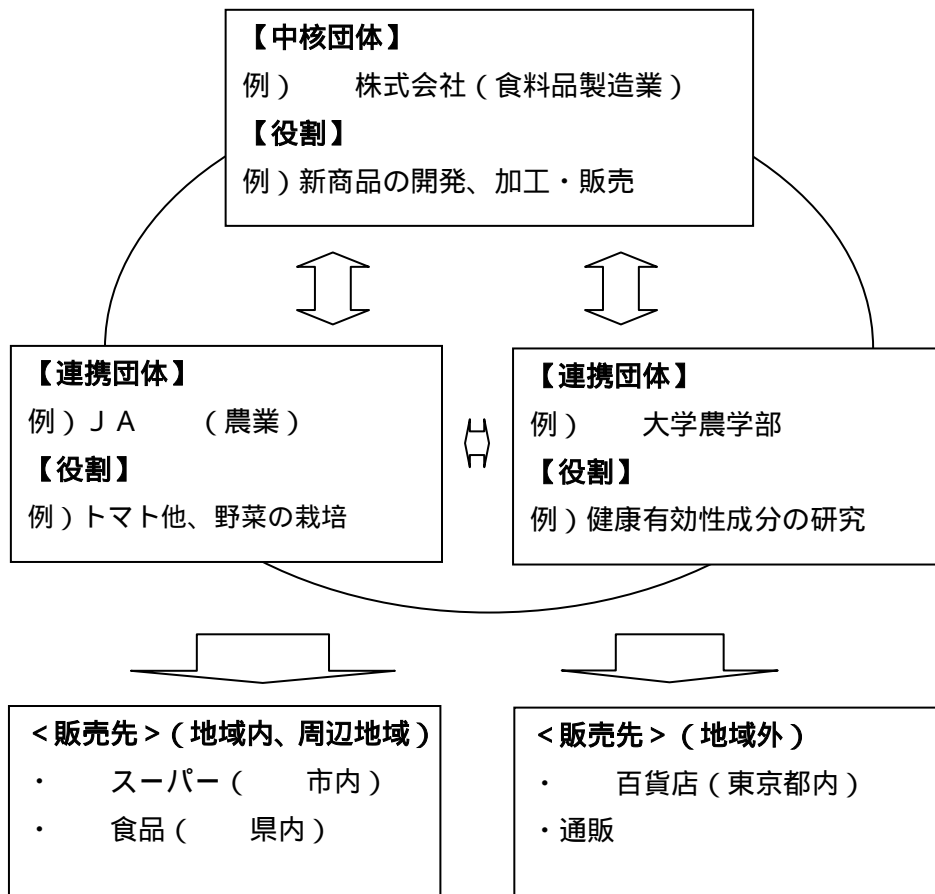
④貴社・貴団体における農商工連携事業の連携体制

連携体制について、下図にご記入ください。

図を例示してありますが、適宜、アレンジしていただいて構いません。

手書きでも構いません。

連携体制図：



⑤連携に至る経緯や連携において工夫した点

連携に至った経緯や連携において工夫した点などを具体的にご記入ください。

- 連携のきっかけ、連携に至るまでのいきさつ
- 連携に求めたこと、連携に期待したこと
- 連携において工夫したこと、苦労したこと

⑥連携の特徴について

の内容について、具体的にご記入ください。

国の補助金等の支援を受けている場合は、(2)に具体的にご記入ください。

参考例を記述してありますが、全ての項目について記載する必要はなく、特にPRしたい項目のみ記載していただいても構いません。

【商品・サービスの開発】

- 商品・サービスの内容と特徴
- 商品・サービスのターゲットとする顧客とその理由
- 商品・サービスの他社との差別化のポイントについて
- 商品・サービスの価格設定について など

【販路開拓】

- 現在の商品・サービスの販路について
- 現在の販路のうち、貴社・貴団体にとって重要な販路について
- 重要な販路の開拓について

誰が、どのようなアプローチを行いましたか。また、その際、他の事業者/機関や人から助言や支援を受けましたか。

事業を展開する上で、ターゲットとする販路に変化が生じましたか。

【プロモーション(広告、販売促進、情報発信)】

- 貴社のプロモーションの主なコンセプトと活用している手段について(その理由)
- プロモーションに関する他の事業者や団体等と連携状況について(具体的な連携先とその役割) など

(2) 商品開発、販路開拓、プロモーションに関する公的な支援の活用について

- 国による補助金等の支援

有・無

補助金等支援の名称:()

具体的な支援の内容:

